

## 第10回富山県農村医学研究および健康管理活動発表集会記録

日 時：平成5年2月13日

場 所：厚生連高岡病院  
地域医療研修室

第10回の研究発表会は、平成5年2月13日、厚生連高岡病院にて、発表演題11題、参加約70名でおこなわれ、活発な討論がおこなわれました。

なお、発表演題名は下記の通りです。

### <プログラム>

1. 会長挨拶 (13:30~13:45)

2. 会員発表 (13:45~発表時間10分 討論5分)

座長 厚生連高岡病院院長 加藤正義 (13:45~14:45)

1. 二次検診受診率のアップを考える -面接による実態調査から-

厚生連滑川総合検診センター ○保井陽子 川口京子 松井規子 速崎智美 上田孝子  
岸 宏栄

2. 乳癌の自己検診法の実施状況 -アンケート結果より-

厚生連高岡総合検診センター ○森内尋子 高田久子 坂本文枝 渋谷直美 橋爪信子  
坂次順子 野崎 豊 龍沢俊彦

3. 当科におけるC型肝炎の実態

厚生連滑川病院 内科 ○小川忠邦 打田 諭 原 博元 中村 暁 三崎 嗣穂

4. 富山県東部の一農村地区の飲酒実態について

日本健康倶楽部 ○井上知健 板倉まさみ 東森幸子 中川 秀幸  
宇奈月町 中嶋妙子 平田千秋

座長 厚生連高岡病院副院長 豊田 務 (14:45~15:30)

5. 合鴨による水田雑草除草法の実際と課題

-集合動物除草による無農薬稲作の確立-

福野町 ○荒田清耕

6. 主穀作作業の粉塵実態

上市農業改良普及所生活班, 作物班

川口喜代枝 ○松村文子 曾我とし子



## 第 23 回 通 常 総 会 記 録

日 時 平成 4 年 6 月 20 日 午後 1 時 30 分～  
場 所 富 山 県 農 協 会 館

### I. 総会議事の概要

- 会 員 総 数 267 名 うち出席者75名 委任状145名
- 会 長 挨拶 越 山 健 二
- 議 長 選 出 厚生連本所 清水忠夫
- 議事録署名人 富山市 柳井道之  
滑川市 石倉俊宜
- 書 記 橋本賢治 高木 茂
- 議 事
  - 第 1 号議案 平成 3 年度事業報告書、財産目録、収支決算報告承認について
  - 第 2 号議案 平成 4 年度事業計画及び収支予算承認について
  - 第 3 号議案 役員の一部改選について
  - 第 4 号議案 顧問の一部変更承認について
- 特 別 講 演 富山県農村医学研究会 会長 越 山 健 二  
演 題 「私が歩いた地域医療から」

### II. 平成 3 年度事業報告書

(平成 3 年 4 月 1 日～平成 4 年 3 月 31 日)

#### I. 事業の概況

平成 3 年度事業の終了に当り、事業の概況について報告します。

この 20 年間、富山県農村の変貌は著しく、この 5 年間で比較しても大きな変化を遂げています。

農家戸数は昭和 60 年の 66,390 戸から、5 年後の平成 2 年には 60,460 戸へ 8.9% 減少し、また農家人口も 321,195 人から 291,452 人へ 9.3% 減少しています。農業就業人口は 60 才以上の人の比率が 39.1% から 45.1% へ上昇し、高齢化が極端に進んでいます。農業就業者の男女比は現在男 1 : 女 2 であり、農業労働は、婦人や高齢者に多くの負担がかかってきています。

さらに、転作面積が耕地面積の 2 割以上に拡大し、転作作物は稲作と比較して作業体系も十分に確立されておらず、新たな健康問題も生じてきています。

一方、少ない労働力で効率的な生産を上げるため、集団営農組織や中核農家が育成されてきています。このような農家では、今までの数倍から数十倍の栽培面積を管理し、労働負担も今までとは比較にならないくらい多くなっています。

本会では、健康で豊かな農村を築くため、以上の課題解決のために会員のみなさんと共に、調査

研究を続けてまいりました。

昭和45年より続けております農業機械災害事故調査、また、昭和55年より実施しています農業機械以外による農業災害事故調査について、今年度も実施してきました。

農薬中毒の臨床例調査は昭和55年より続けておりますが、あいかわずバラコートによる中毒が多くみられます。さらに濃度を25%から5%に下げたプリグロックスL等の例も多くなっており、今後とも保管管理の徹底、農薬の安全な取扱いの普及等が必要と考えられました。

農薬散布者の血中農薬濃度と血液生化学の関係を経時的に追跡したところ、いくつかの生化学項目と血中農薬濃度との関係が考えられ、また、生体内残留がほとんどないとされている有機リン剤が、いままで報告されている以上に残留している可能性も示唆され、今後とも徹底した防護が必要と考えられました。

農作業に伴う騒音について、ライスセンター内の騒音を測定したところ、施設によっては騒音性難聴を惹起すると考えられる施設もあり、防護並びに施設の改善等も考える必要があるものもありました。

ネギの皮剥き機の騒音並びに作業者の聴力を測定したところ、4000Hz 付近のレベルが大きく、かつ一過性の難聴を認められた者もあり、今後とも防護を徹底する必要があると考えられました。

その他、富山県内の空中花粉調査も農協組織等と協力し継続的に実施しております。

農村における健康状態の把握に関する調査研究も引続き実施しております。高岡、滑川の農村検診センターにおける健康調査、各地におけるみそ汁塩分調査と保健調査等、農村における健康状態の解明のための調査研究を行なってきました。

なお、以上の課題のうち農薬中毒に関する調査は厚生科学研究の一部としても実施しました。

これらの研究成果は、旭川市で開催された第40回日本農村医学会、第11回国際農村医学会、第9回富山県農村医学研究及び健康管理活動発表集会等、各種学会や会誌等で発表しています。

国際交流についても、北京で開催された第11回国際農村医学会を契機に中国河南省との農業災害、農薬中毒の実態についての合同調査も計画され、今後の進展が期待されています。

以上、本会の活動は医療関係者はもとより行政、農協、及び農村の健康問題に関心のあるあらゆる方々の協力により実施されてまいりました。次年度も引続き事業計画に基づき、さらに研究調査に鋭意取り組んでまいりたいと思っておりますので、会員各位の絶大なるご協力をお願い致します。

最後に、県当局、農協各連より絶大なるご援助をいただいておりますことに対して厚くお礼申し上げます。

## II. 主な事業項目の概要

### I. 総会（平成3年6月1日、富山県農協会館）

#### ① 議 事

- ・平成2年度事業報告、収支決算承認
- ・平成3年度事業計画、収支予算案承認
- ・定款の一部変更承認について
- ・役員改選について、顧問の承認について

#### ② 特別講演

講 師 日本農村医学研究所 主任研究員 浅 沼 信 治 氏

演 題 「食の安全に鋭い目を - 広がるポストハーベスト農薬汚染 -」

## II. 研究調査活動

### (1) 農業災害に関する調査研究

#### ①富山県における農業機械事故調査

昭和45年より実施している農業災害事故調査を県内全ての整形外科、外科、接骨院700カ所余りを対象に実施した。今年度は昨年度と同様一次調査として災害事故例の有無について調査し、「症例有り」との回答があった医療機関に詳細報告を求めた。特に、今年度は一次調査を前期（1～8月）、後期（9～12月）と2度実施した。

その結果、詳細報告数は70件余りで、最も多かったのはコンバインであり、ついで草刈機であった。

#### ②富山県における農業機械以外の農業災害事故調査

昭和55年より行なっている標記調査について、前項と同様一次調査、詳細調査を行なった。その結果、例年通り、受傷年齢は高齢者が多く、かつ重いものをもつての挫傷等が多かった。今後、農業従事者の高齢化が進むにつれ、さらに問題となると考えられ、作業改善や集団営農等による共同作業等により、身体負荷の軽減方策について検討することが必要と考えられる。

### (2) 農業中毒に関する調査研究

#### ①富山県における農業中毒の臨床例の収集とその問題点の解明

昭和55年より県内の内科、外科、小児科、眼科、皮膚科を標榜する医療機関全てを対象に農業中毒の臨床例の有無を調査してきた。本年度も同様の方法にて一次調査として、農業中毒臨床例の調査を行い、「症例有り」と回答のあった医療機関に詳細報告を求めた。なお、一次調査は前期（1～8月対象）と後期（9～12月対象）の2回実施した。

#### ②農業散布者の血中農薬濃度と血液生化学的動態に関する調査研究

被検者2名により、有機リン剤を散布し、散布後の血中農薬濃度、尿中代謝物、生化学項目の動態について経時的に追跡した。

その結果、前年度に明らかにした GOT、GPT、Al-P、CPK、アルドラーゼ等が血中農薬濃度との関係が考えられた。さらに、尿中代謝物は6日後も検出され、また、一時的に減少した後再び上昇した。これは、これまで有機リン剤はすみやかに分解されるとの報告とは異なり、かなり安定的に体内に残留するものと考えられ、今後、有機リン剤の体内残留についても検討する必要があると考えられた。

いずれにして、「低毒性」ということで無防備になりがちな農業散布について今後とも厳重な防護が必要と考えられた。

### (3) 農村における騒音と聴力障害について

#### ①ネギの皮剥き作業者の聴力障害について

氷見農業改良普及所管内におけるネギの皮剥き作業者について、ネギの皮剥き作業にともなう聴力障害の有無について検討した。

その結果、ネギの皮剥き時に発する騒音は、いわゆる騒音性難聴を引き起こすと言われる4000Hz付近の騒音レベルが最も大きく、長時間の作業により、騒音性難聴をも惹起する可能性が考えられた。また、実験的に騒音暴露をしたところ、一過性ではあるが、聴力損失が認

められた。

騒音防止のため、種々の耳栓を試みたところ、いくつかのものの遮音効果がよく、装着時の違和感も感せず良好との結果を得た。

今後、さらにネギの皮剥き機は普及すると考えられ、防護の徹底が望まれる。

#### ②各種農業機械の騒音の周波数分析

草刈機、ライスセンター内の騒音の周波数分析等を行なった。その結果、作業改善、防護の徹底の必要な作業もあり、今後とも、農作業環境調査及び、防護対策の徹底が望まれた。

### (4) 農村における各種健康調査

#### ①シールによる子供のおやつ調べ

シール貼りにより、子供のおやつ摂取状況について検討した。農村でのおやつ摂取状況に乱れがみとめられ、農村における親子関係、家族関係に未だに、十分な対話がなされていない状況についてもうかがえた。

#### ②成人病検診における問診内容の検討

検診において、問診が行なわれているが、特に生活問診と疾病の関係について検討した。しかし、前回調査と同様、問診結果と疾病内容を関係づけるものは無く、今後とも問診内容の検討が必要であることが明らかになった。

### (5) 富山県における空中花粉調査

県内の農協等の協力を得て、春先の空中花粉の飛散状況調査を7ヶ所で実施した。これまで、富山県においては広域的な空中花粉の基礎資料がなく、本調査により、次第に県内の空中花粉の飛散状況が明らかになりつつあり、今後花粉情報の提供、また、農村における花粉症等のアレルギー疾患の予防にも役立つと考えられる。

### (6) 農村におけるアレルギー疾患について、特にスギ花粉症について

高岡検診センター受診 500名のスギ RAST を試みた。その結果、農村、山村地区に比較して市街地居住者にやや陽性者が多く、都市の大気汚染と花粉症の関係を否定することができず、農村の清浄な環境が花粉症等のアレルギー疾患を予防する上で重要と考えられた。

### (7) 農村検診センターにおける検診結果と、今後の農村における保健活動の課題

農村検診センターにおける約8,000人の受診者の検診結果の分析を通じ、今後の農村における健康管理の課題について検討した。

## III. 各種研究集会参加・交流並びに開催

### (1) 学会等への参加

第40回日本農村医学会

- ・開催日時 平成3年10月3・4日
- ・開催場所 旭川市
- ・会員発表 富山県より5題

#### 第11回国際農村医学会

- ・開催日時 平成3年11月9日～12日
- ・開催場所 中国, 北京市
- ・会員発表 富山県より3題

#### (2) 第9回富山県農村医学研究及び健康管理発表集会

- ・開催日時 平成4年2月15日(土)
- ・開催場所 厚生連高岡病院 地域医療研修室(1)
- ・会員発表 11題(参加者約70名)

#### IV. 印刷物の刊行

- ① 会誌第23巻の発刊
- ② 豊田文一先生追悼集「大地を忘れず 大地に学んだ 豊田文一先生」の発刊

III. 主な行事 (平成3年4月1日～平成4年3月31日)

年 月 日	主 な 行 事	
	事 項	場 所
3. 4. 1	空中花粉定点観測 (3. 2/20～4/30)	井波農協, 立山町農協, 厚生連看護専門学校, 厚生連滑川病院, 高岡市立 太田小学校, 黒部農協の各 屋上
4. 19	平成3年度第3回理事会	厚生連会議室
4. 30	編集委員会	厚生連会議室
5. 21	平成3年度第4回理事会	厚生連会議室
5. 27	農村児童のおやつ習慣に関する調査	福野町
6. 1	第23回総会	富山県農協会館
6. 6	山村住民耳鼻咽喉科検診, および山村住民の 難聴調査 (6/6, 6/20, 7/7)	利賀村 (豊田, 大浦, 中村, 藤本)
7. 25	第1回地域医療フォーラム	上市 (越山他)
8. 6	第13回富山県農村の健康会議	富山農協会館
8. 13	農薬散布者の生体影響調査	高岡 (大浦, 寺中, 中崎 林, 佐藤, 中村)
8. 20	農業におけるアレルギー性疾患の調査研究班 会議	東京 (寺中, 大浦)
10. 3～4	第40回日本農村医学会	旭川市 (発表演題5)
11. 9～11	第11回国際農村医学会	中国北京市 (越山, 中川, 寺西, 大浦他)
11. 22	第2回地域医療フォーラム	上市 (越山, 于維漢他)
12. 20	平成3年度第1回理事会	厚生連会議室
4. 1.	平成3年度農薬中毒実態調査 平成3年度農業災害事故調査	
1. 31	平成3年度第2回理事会	厚生連会議室
2. 15	第9回富山県農村医学研究及び健康管理 活動発表集会	厚生連高岡病院 (約70名参加)
2. 12	ハウス農家の健康調査 (～2/13)	富山市農協 (小川他)
3. 15	豊田文一先生追悼集発刊	



## 平成3年度収支決算書

収入の部

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差引額	備 考
会費収入	294,000	267,000	△ 27,000	
会 費	294,000	267,000	△ 27,000	267人×1,000円
助成金	1,800,000	1,800,000	0	
助 成 金	1,800,000	1,800,000	0	富山県より
特別負担金	4,680,000	4,680,000	0	
特 別 負 担 金	3,480,000	3,480,000	0	4連×870,000円
調査研究協力費	1,200,000	1,200,000	0	厚生連より繰入
受託料	100,000	100,000	0	
受 託 料	100,000	100,000	0	県より農機災害調査委託費
雑収入	33,522	69,568	36,046	
雑 収 入	33,522	69,568	36,046	利息等
前期繰越金	544,958	544,958	0	
収 入 計	7,452,480	7,461,526	9,046	

支出の部

項 目	予算額	決算額	差引額	備 考
会議費	570,000	758,269	188,269	
総 会 費	170,000	268,867	98,867	
役員会費	400,000	489,402	89,402	
事業費	6,400,000	5,759,633	△640,367	
研究調査費	3,300,000	2,962,294	△337,076	各種調査研究費
専門委員会費	50,000	0	△ 50,000	" 打合せ等
研究集会費	600,000	545,346	△ 54,654	日本農村医学会等参加費
会誌発行費	2,000,000	1,901,295	△ 98,705	第23巻発行費
編集委員会費	50,000	60,290	10,290	
通信費	150,000	152,516	2,516	
消耗品費	150,000	137,262	△ 12,738	
備品・什器	100,000	0	△100,000	
旅費交通費	200,000	2,200	△197,800	
旅 費 交 通 費	200,000	2,200	△197,800	
事務費	240,000	240,000	0	
事 務 費	240,000	240,000	0	20,000円×12ヶ月
雑費	20,000	57,551	37,551	
雑 費	20,000	57,551	37,551	
予備費	22,480	0	△ 22,480	
予 備 費	22,480	0	△ 22,480	
支 出 計	7,452,480	6,817,653	△634,827	
次期繰越金		643,873	643,873	

# 平成4年度事業計画

## I. 事業方針

富山県内の農山漁村におけるすべての健康問題を調査研究し、明るく健康な村づくりに寄与する。

## II. 事業計画概要

1. 農村の職業性疾患の調査研究
  - ・農村の地域環境並びに農作業の特殊性に起因する健康障害の調査研究
2. 農業災害の調査研究
  - ・農業機械の健康に及ぼす影響についての調査研究, 特に騒音及び振動の影響に関する調査研究
  - ・農業機械及び農業機械以外による農業災害事故調査研究
3. 農薬の生体に及ぼす影響に関する調査研究
  - ・農薬中毒の実態調査
  - ・農薬の生体に対する急性及び慢性的影響に関する調査研究
4. 健康管理に関する調査研究
  - ・農業従事者の健康状態の把握と保健指導
  - ・農業従事者の健康管理に関する調査研究
  - ・農業従事者の成人病の実態調査とその対策に関する調査研究
5. 農村における社会医学的研究
  - ・農村における高齢者に関する調査研究
  - ・社会変動による農業従事者の健康に及ぼす影響についての調査研究
  - ・都市近郊農村における社会医学的研究
  - ・農村における食生活の変化と健康影響に関する調査研究
6. 農村における特殊疾患の調査研究
  - ・伝染病, 風土病等の地域多発疾患の疫学的調査研究
7. 農村における環境汚染と健康影響に関する調査研究
8. 乳幼児並びに学童の健康調査研究
9. 農村の健康会議, 健康教室等の実施
10. 研究会誌並びに必要な印刷物の発行
11. 研究集会の参加及び開催
12. その他目的達成に必要な事項

## III. 主な事業計画

### I. 主な調査研究

- (1) 農業災害に関する調査研究
  - ①富山県における農業機械災害事故調査
  - ②富山県における農業機械以外の農業災害事故調査
- (2) 農薬中毒に関する調査研究
  - ①富山県における農薬中毒の臨床例の収集とその問題点の解析

- ②農薬散布者の健康調査
  - ・農薬散布前後の健康調査並びに尿中代謝物の検討
  - ・農薬の慢性生体影響に関する調査研究
- ③農薬取扱い者の農薬に対する意識に関する調査研究
- (3) 農村におけるアレルギー疾患に関する調査研究
  - ①農村地区における花粉症に関する調査研究
    - ・富山県における空中花粉の飛散状況調査（井波他7カ所）
  - ②農村住民のアレルギー疾患に関する調査研究
- (4) 農作業及び農作業環境と健康障害に関する調査研究
  - ①大豆脱穀等粉塵による健康障害に関する調査研究
  - ②ハウス農家の健康調査
- (5) 農山村における騒音による聴力障害等に関する調査研究
  - ①農業機械の騒音分析
  - ②農山村住民の聴力損失に関する調査研究
- (6) 農村における環境汚染と健康障害に関する調査
- (7) 農村における生活習慣と健康に関する調査研究
  - ①食生活と健康に関する調査研究
  - ②農村生活の変化と健康障害に関する調査研究
- (8) 農村におけるプライマリーヘルスケアの確立に関する調査研究
  - ①農村における健康管理運動の確立に関する調査研究
- (9) 農村における高齢者に関する調査研究
  - ①高齢者問題に対する農村住民等の意識調査
  - ②在宅ケアのあり方に関する調査研究
- (10) その他、農村における各種保健調査、健康調査の実施
  - ①肥満、アルコール、肝疾患等の調査研究
  - ②農村における成人病に関する調査研究
  - ③その他

## II. 各種研究集会参加・交流並びに開催

- (1) 学会等への参加
  - ①第41回日本農村医学会（平成4年10月、秋田市）
- (2) 第10回富山県農村医学研究及び健康管理活動発表会の開催  
（平成5年2月、厚生連高岡病院）
- (3) 中国、河南省との農業災害、農薬中毒実態調査の共同研究

## III. 会誌等の印刷物の発刊

- ①富山県農村医学研究会誌第24巻の発刊
- ②その他

## IV. その他目的達成に必要な事業

## 平成4年度収支予算書

収入の部

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
会費収入	267,000	
会 費	267,000	267人×1,000円
助成金	1,800,000	
助 成 金	1,800,000	富山県より
特別負担金	4,680,000	
特別負担金	3,480,000	4連×870,000円
調査研究協力費	1,200,000	厚生連より繰入
受託料	100,000	
受 託 料	100,000	県より農機災害調査委託費
雑収入	68,568	
雑 収 入	69,568	利息等
前期繰越金	643,873	
収 入 計	7,560,441	

支出の部

項 目	金 額	備 考
会議費	670,000	
総 会 費	170,000	
役員会費	500,000	
事業費	6,400,000	
研究調査費	3,950,000	各種調査研究費
専門委員会費	50,000	” 打合せ等
研究集会費	600,000	日本農村医学会等参加費
会誌発行費	1,300,000	第22巻発行費
編集委員会費	50,000	
通信費	200,000	
消耗品費	150,000	
備品・什器	100,000	
旅費交通費	200,000	
旅 費 交 通 費	200,000	
事務費	240,000	
事 務 費	240,000	20,000円×12ヶ月
雑費	20,000	
雑 費	20,000	
子備費	30,441	
子 備 費	30,441	
支 出 計	7,560,441	

## 役員・顧問名簿

平成4年6月20日

理 事	役 職
越山健二	全国国保診療施設協議会顧問
福岡隆	県医務課 課長
鹿島英治	県普及指導課 課長
齋田道男	県健康課 課長
中田慶子	県健康増進センター 参与
石田礼二	富山市民病院 院長
寺中正昭	城端厚生病院 院長
館野政也	県立中央病院 副院長
熊谷武夫	高岡市保健センター所長
黒崎正夫	富山県医師会学術担当理事
中藤康俊	富山大学教授
長谷田祐作	南星クリニック
渡辺正男	黒部温泉病院 院長
西能正一郎	西能病院 院長
北川鉄人	北川クリニック 院長
加藤正義	厚生連高岡病院 院長
小川忠邦	厚生連滑川病院 院長
川東正範	厚生連高岡病院健康管理部長
八木信一	富山県農協中央会専務理事
秋元敏夫	富山県厚生連 参事
得地滋一	富山県農協青年組織協議会委員長
竹部喜代子	富山県農協婦人組織協議会会長
仕切義宣	経済連生活部部長
埜村美智代	富山県生活指導協議会会長
監 事	役 職
豊田務	厚生連高岡病院 副院長
島田富士弥	高岡市農林部長
顧 問	役 職
中沖豊	富山県知事
正橋正一	富山県市長会 会長
池田博	富山県町村会 会長
広瀬友二	富山県医師会 会長
織田肇	富山県厚生部長
成瀬弘生	富山県農業水産部長
松井信勝	富山県農協中央会 会長
戸谷徳一	富山県信連 会長
大角秀尚	富山県経済連 会長
吉田與治	富山県厚生連 会長
江西甚昇	富山県共済連 会長

## 投 稿 規 定

**募 集 原 稿** 農村医学の分野における独創的な研究および会員のたよりとします。

**投 稿 の 資 格** 投稿者は原則として富山県農村医学研究会会員とします。

**原 稿 の 送 り 先** 富山県農村医学研究会事務局宛（富山市新総曲輪2番21号富山県厚生連内）  
投稿原稿の掲載選択順位は編集委員にご一任下さい。

### 論文の原稿の形式

1. 本文は本会規定の原稿用紙に、口語体、平かな、新かなづかいで、できるだけ簡潔に横書して下さい。
2. 外人名、地名、その他の固有名詞、特別な化合物名などは、できるだけ原綴のまま(Pasteur, Prostigmin等)とし、動植物名は日本名の次に学名(ローマ字 Moccusruslesus, 山椒藻 Salvinabatah等)を記入する。計量にかんするものはメートル法に準拠し、次のような略号を用いる。メートル m, センチメートル cm, グラム g, キログラム kg 等。
3. コンマ (,) ピリオド (.) コロン (:) ゴシックの使用等に気をつけて下さい。
4. 図表は、そのまま製版できるように上質ケント紙または方眼紙に墨で、ていねいに書いて下さい。  
(図表は、特殊なものを除いては、出来上がり左右6.5cmに製版しますから、その2倍か3倍に書いて下さい。)  
図表の文字は、こちらで記入しますから、鉛筆で書いて下さい。
5. 写真は出来るだけ鮮明なものをお送り下さい。
6. 本文に挿入する図表、写真については、挿入場所を原稿の欄外に明記(末記)して下さい。

**無 料 掲 載** 原稿用紙20枚(刷上がり5頁)までとします。ただし挿入附図、附表を含みます。

**有 料 掲 載** 超過頁の印刷代、附図、附表の製版代の実費は投稿者の負担とします。ただし刷上がり15頁を限度とし長篇の論文を5頁ずつ分割掲載することは認められません。

### 文 献

1. 雑誌の場合 著者名、標題名(雑誌指定の略号)、巻数(号数)、頁一頁、発行年月(昭和52.5のごとく。)
2. 単行本の場合 著者名：標題名、発行所、発行地、発行年月(必要ならば引用の箇所の頁を最後に)

**印 刷** 印刷の部数や体裁などについてはある程度まで、実費をもってご希望に応じます。ただし別刷30部までは無料で投稿者に進呈、30部以上は実費をご負担願います。

## 編 集 後 記

I C A国際協同組合同盟の故レードロー会長は、これからの協同組合運動は「コミュニティ建設を主動力としなければならない。そして自然環境保全と、健康な人間生活という原点的課題を忘れてはならない。」と述べています。

本会は、農村医学としての実学精神を発揮し、単に学問のための学問としてではなく、地域の農協組織と連携し、地域づくり、コミュニティづくりに努力し、様々な研究調査を続けております。このことは、今日、高齢化社会を迎えその重要性は益々増すものと考えられます。

また、環境問題もこれまで高岡市農協青年部等と協力し環境調査にも取り組んできました。また、本誌にも呉羽の自然を守る活動、無農薬農業を目差した合鴨除草法等も紹介されております。

本誌により、21世紀に向けレードロー会長が指摘したコミュニティづくり、環境問題、健康問題の積極的取り組みを会員皆さんの協力により紹介できることは、全国的にも特異なことであり、誇れることかと思えます。

次号も会員各位の積極的な投稿をお願い致します。

なお、次号からは、9月原稿締切、12月発行に変更致したく、皆さんのご協力をお願い申し上げます。

(事務局 E、O)

編 集 委 員 越山健二，長谷田祐作，渡辺正男，北川鉄人

---

富山県農村医学研究会誌 第24巻平成5年3月25日印刷・3月31日発行  
富山市新総曲輪2番21号・富山県厚生連内 電話 富山(0764)45-2307  
編集、発行所 富山県農村医学研究会 事務局長 膳 亀 悠紀雄  
印 刷 所 中央印刷株式会社 富山市下奥井町 電話(0764)32-6572

---